

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

西宮市六湛寺町 10-3 (西宮市議会内)
TEL・35-3368 FAX・22-7815
Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

496 項目の予算要望書を 日本共産党市議団が市長に提出

8月31日から9月議会が始まりました。2015年度決算を審議するとともに、新年度にむけた議論もします。議会に先立ち、日本共産党西宮市会議員団は、8月30日、今村市長に対し、2017年度西宮市当初予算編成に対する申し入れを行いました。今年の予算要望は496項目となりました。市当局からは、両副市長、上下水道事業管理者等が同席しました。



昨年ドタキャンの今村市長も出席

昨年、前日に今村市長が出席をキャンセルした日本共産党西宮市会議員団の予算要望の申し入れ。市長の「お前ら出る」発言で本会議でも大問題となりましたが、今年は無事に出席し、予算要望書を受け取りました。

地区委員長の庄本けんじ議員が「国の悪政の下、防波堤としての役割は重要」との冒頭あいさつに、今村市長は、「国の政治がどうであれ、市民の暮らしを守るのが西宮市の仕事」とあいさつを返しました。

担当毎に各議員から説明

杉山議員団長から新しい項目や重要項目について、また、各議員からは重点項目を説明しました。

「高塚山の大型開発による自然破壊について、開発規制の強化と市民参加のまちづくりが必要」「27億円にもなる基金を活用すれば国保料は引き下げられる」「介護保険法の改悪によるサービス低下をくいとめる」「市の施設全体に、トイレの洋式化やwi-fi整備など、水準を引き上げるべき」「保育所待機児童対策」「公契約条例は契約課が担当して早期に制定を」など、各議員が強調しました。

申し入れ書はHP、冊子などで

出席した幹部職員からは、「公契約条例については労政課ではなく、契約課ですべきだと思う。今、契約について新たに検討を始めている。」など、かみあった発言がありました。

申し入れ書は、市議団ホームページに掲載、今後冊子化も予定しています。来年2月頃には市当局から回答が示されることとなります。

2015年度決算は約26億円の黒字。基金は221億円に。

2015年度は、市長が提案した高齢者交通助成金減額(5000円を3000円に)、難病患者見舞金廃止を議会が否決した修正予算の決算認定です。歳入では8%への消費税増税により、地方消費税交付金が32.6億円増収の一方、市税は8千万円、臨時財政対策債を含む地方交付税は約19億円、それぞれ減収となっています。基金(貯金)の取り崩しはなく、財政基金と減債基金は合わせて約221億円に。市債(借金)は17億円減額。各財政指標は改善されており、安定した財政運営となっています。

国保の基金は27億円にまで積み立てられ、いよいよ保険料引き下げが待ったなしの課題です。

大型公共事業などのむだ使いをしなければ、もっと市民要求に財源を投入できる財政状況を2015年度決算は示しています。